

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新年のご挨拶

徳島市病院事業管理者 湊 省



新年明けましておめでとうございます。
日ごろ皆様方には何かとお世話になり
ありがとうございます。本年もまたよろしく
お願いいたします。

昨年4月、地方公営企業法の全部適用による病院事業管理
者として就任し、自治体病院として徳島市民病院はどういう
医療をするべきか、今何をしているのか、近い将来何ができ
るのかなどを考えてきました。

最終的には徳島という地域の中で徳島市民病院でしかで
きない医療に特化し、地域医療機関と連携して、この地域に
質の高い医療を提供する一翼を担うことを目標としたいと
思います。しかしながらそれを達成するためにはクリアしな
ければならないハードルは多く、また多くのことを変革する
ことが必要であり、一朝一夕にできるとは考えておりません。

当面の課題としては救急医療の対応、連携医療の充実、臨床
研修病院として機能することをおかけしております。

救急医療は医師数が50数名であらゆる救急には対応でき
ませんが地域医療機関の要請にこたえる二次救急には可能
な限り応えるようにしたいと思います。

連携医療を充実するためには市民病院で行われる急性期
の医療をより質の高いものにしなければならず、高い目標に
向かって医師を中心として職員一同日々努力していきます。

2年前より臨床研修医制度の義務化がスタートして以来、
従来の大学医局制度を中心とした医師供給体制が崩壊して
きており、これからの地域中核病院は質の高い臨床医の養成
機能が必須の要件になるため、何としても魅力ある研修病院
をつくりたいと思います。特に後期臨床研修には勤務体制も
含め、多様性を持ったシステムを導入していくつもりです。
ご要望がありましたらぜひともご連絡いただければと思い
ます。

本年の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りしております。

新年のご挨拶

徳島市民病院院長 露口 勝



平成19年の新春を迎え、皆様には謹ん
でお慶び申し上げます。

日頃は徳島市民病院の病診連携事業に
ご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上
げます。昨年は新病院へ向けての新しい病院改革にとりかかり、
病院職員にとりましては慌しい1年となりました。電子カル
テの導入、DPC調査協力病院への参画、そして地域医療支
援病院を目指した外来機能の見直しなど次々と新しい課題
に取り組んできました。本年も引き続き難問が山積していま
すが、猪にあやかってエネルギーに課題を克服し、新病
院へ繋がる道をまっしぐらに進んでいきたいと思っていま
す。どうぞ宜しくお願いいたします。

診療報酬改定をテコに進められる医療制度改革の中で、医
療施設のあり方が大きく変化しています。医療機関は急性期、
回復期、慢性期へと機能分化され、良質な医療、医療の効率
化と連携の推進が求められています。今後、医療の現場では

地域クリティカルパスの整備等で医療機関と連携を進める
ことが一段と重要になります。

徳島市民病院は地域の中核病院として、徳島市という医療
資源の豊富な地域で、皆様の病院、診療所と密接な医療連携
を構築し、地域医療水準の向上を図り、地域住民に良質で豊
かな医療を提供できる施設にしたいと考えています。急性期
病院として病院外来は救急、専門、紹介に特化し、救急患者
の受け入れ体制を充実し、外来での癌化学療法、日帰り手術
を行うなど先進的、専門的医療を担います。さらに臨床研修
病院として若手医師の指導、育成、医療従事者のスキルア
ップを行い、地域住民の健康の維持増進、ひいては徳島市の
発展に貢献できる病院を目指しています。そのためには全ての
職種にわたる病院職員が更なる研鑽を積み、医療従事者とし
ての資質向上を図ることが必須であります。今年末にはいよ
いよ新病院第1期工事が完成する予定です。本年もご指導、
ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう心から
ご祈念申し上げます。

新年おめでとうございます。皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は何かとお世話になりありがとうございます。

昨年も徳島市民病院にとっては大変きびしい1年でしたが、湊管理者、露口院長の新体制のもとで改革に取り組んで参りました。一年で成果がでるようななまやさしい現状ではないのですが大体進むべき方向は見えてきたように思われます。地域医療支援病院の指定、DPCへの移行、7：1看護体制の確立を目指して努力中

副院長

日浅 光春

であります。さらに救急体制の整備、臨床研修病院の充実も忘れてはならない課題であります。職員一同が意識改革し一丸となり、さらに地域の先生方のご協力、ご支援があつてはじめて解決できる難題ばかりであります。いつもながらではございますが、今年もよろしく願い申し上げます。

明けましてお目出とう御座居ます。

登録医の先生方には日頃より当院への紹介について、大変御世話になっております。お陰をもちまして、当院への紹介も順調に伸び、やはり逆紹介しなければ、紹介していただけないということが、身にしみて分かった1年でした。今年は新病院へあと1年というカウントダウンになりました。先生方とともに当院も今年良き1年でありたいと思います。よろしく願い申し上げます。

内科総括部長

石丸 勝雄

笑門来福。昨年は患者様の紹介など格別のお引き立てを賜りありがとうございました。今年末には新病院も出来上がりますので、建物のハード面だけでなく院内のソフト面も、魅力的な笑顔のある病院にしていきたいと思ひます。現在の市民病院外科は、各分野に人的にも技術的にも最高のスタッフが揃っております。どんな疾患でもお気軽にご相談、ご紹介お願いいたします。

外科総括部長

惣中 康秀

謹

賀

明けましておめでとうございます。

昨年、当科は日本脳神経外科学会専門医訓練施設（A頃）に認定されるなど、充実した一年でありました。

今年の抱負としては、研修医、レジデントなどを募集し、若手の脳外科医を育成することに本腰をいれたいと考えております。

脳外科に興味がある方がいましたら御推薦の程よろしく願い致します。

脳神経外科総括部長

蔭山 武文

新年おめでとうございます。昨年は先生方の御協力により大腿骨頸部骨折の地域連携パスをスタートすることができました。また大学医局の統計では、人工関節手術数は県内外の関連病院中で第1位、脊椎手術も県内では第1位の症例数でした。これらは一重に先生方に多くの患者様を御紹介頂いたおかげと心より感謝しています。連携をさらに密にして便宜を計るべく一層努力する所存です。本年も昨年同様に何とぞよろしく御願ひ致します。

整形外科総括部長

島川 建明

新年おめでとうございます。旧年中は病診連携の先生方には大変お世話になりました。私達小児科一同、来年度の新病院開院に向け、未熟児新生児医療・小児救急医療の充実のため、先生方との連携を更に深めて、邁進努力してゆく所存でございます。本年もどうぞよろしく願ひします。

小児科総括部長

山下 和子

明けましておめでとうございます。日頃は共同診療登録医の先生方には大変お世話になっております。あらためて御礼申し上げます。産婦人科では、異常妊婦の救急搬送、婦人科悪性腫瘍の手術、不妊疾患治療などの分野で、先生方のお役に立てるよう努力致しますので、今後とも何卒宜しく願ひ申し上げます。

産婦人科総括部長

東 敬次郎

新年あけましておめでとうございます。諸先生方には、いつもお世話になりありがとうございます。新病院での放射線関連機器が着々と決まりつつあります。しかし、開院までは現行機器で対応せざるを得ません。道具は古くとも、誠意のある（ひいては患者様のためになる）読影レポートをお返しできるよう努力する所存です。本年もどうぞよろしくお願い致します。

放射線科総括部長 仁木 孝明

新年おめでとうございます。旧年中はいろいろとお世話になりました。

日頃は泌尿器科へ多くの患者様を御紹介いただき感謝しております。腎・尿路・性器疾患の専門科として、診療にはげんでいます。尿路の疾患は慢性疾患として他科とのオーバーラップも多いため、今後は地域医療連携として開業されている先生方にもご無理をお願いする機会も増えると思われませんが、どうぞよろしくお願い致します。

泌尿器科総括部長 横関 秀明

あけましておめでとうございます。当科は、開業の先生方と直接接していませんので、手術室での業務を紹介します。当病院の一端を知ることができると思います。集計がとれている平成17年度で管理した症例は、術後鎮痛のための硬膜外麻酔併用を含む全身麻酔が1,673例、硬膜外麻酔他が32例です。県内屈指の麻酔内容をこれからも大切にしたいと考えています。

麻酔科総括部長 中原 俊之

おめでとうございます。昨年は超音波検査に力を入れ、検査数は年間、腹部1,000件、心臓1,900件、頸部400件、下肢360件になりました。予約の必要はありませんのでご紹介ください。また院内感染対策のための細菌検査、血液製剤管理など検査科の役割は増えています。各診療科と協力して皆様に信頼される病院となるよう一層努力しますので宜しくお願いいたします。

中央検査科総括部長
兼内科診療部長 渡辺 滋夫

新年

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。現在新病院に向け救急室の充実を図っているところです。救急患者に対し迅速に対応し更に救急医療の質の向上にも努めたいと思っています。具体的には救急外来看護師を増員し、救急担当医師の専門外に関して也十分バックアップ機能を行うことにより、より質の高い医療を目指したいと考えています。また小児救急に対しては、小児科医が現在不足状況ですが病診連携の先生方と密接に連絡を取り邁進努力をする次第です。最後に救急室として、新病院開院までには現在の問題点を十分検討、対処する所存です。今後とも宜しくお願いいたします。

救急室総括部長
兼脳神経外科診療部長 藤本 尚巳

新年明けましておめでとうございます。

院外処方せん発行に伴い、調剤業務からチーム医療（服薬指導・がん化学療法・栄養管理・感染症対策等）に参加する業務が中心となりつつあります。これらの業務を通じて、「安全かつ安心な薬物治療を提供する上で欠かせない存在」であることが、院内外で広く認知されるべく、日々精進しております。

ご指導よろしくお願い致します。

薬剤部長 岩城 孝

新年明けましておめでとうございます。

年末には新病院の第1期工事が完成の予定です。「ハード面が立派になってもソフト面が充実していなければいけない」との合言葉で、看護の質を上げるべく、看護基準、看護手順等を見直し、院内教育の充実も図っています。昨年は、診療報酬の改定で、看護も益々高い専門性が求められています。在院日数短縮により、病棟は混合化となり質をいかに保つかが看護管理者の役割だと考えております。その中で、全看護職員が専門職業人としての義務と責任を果たし、患者様に安心と信頼を得て頂けるよう取組んで参ります。今後共、徳島市民病院看護部をよろしくお願い致します。

看護部長 橋本 照子



統計コーナー

診療科別「地域医療支援病院」の紹介率・逆紹介率

科名	11月					10月		9月			
	初診患者数(A)	初診時間外(B)	紹介患者(C)	初診即入院(D)	逆紹介患者(E)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)	紹介率(%)	逆紹介率(%)
内科	357	189	84	28	108	57.1	55.1	52.9	46.7	53.6	39.1
小児科	370	192	65	69	57	54.3	23.1	45.4	19.4	36.0	14.0
外科	182	39	103	10	134	73.9	87.6	68.7	59.2	69.6	53.4
整形外科	219	46	124	19	149	74.5	77.6	53.6	63.3	68.4	82.2
脳神経	108	17	35	12	52	45.6	50.5	47.4	56.1	50.5	44.4
皮膚科	50	8	12	0	9	28.6	21.4	41.2	17.6	24.4	14.6
泌尿器	68	6	36	2	24	59.4	37.5	58.3	27.1	48.6	24.3
産婦人	82	19	29	7	14	51.4	20.0	50.5	14.4	27.1	15.3
眼科	21	2	7	0	14	36.8	73.7	50.0	68.8	41.7	75.0
耳鼻咽	15	3	2	0	8	16.7	66.7	8.3	25.0	26.3	31.6
放射線	27	0	26	0	38	96.3	140.7	100.0	140.7	105.0	130.0
合計	1,499	521	523	147	607	59.6	54.0	53.2	43.2	51.8	41.5

$$\text{紹介率(\%)} = \frac{\text{紹介患者の数[C]} + \text{救急患者の数[D]}}{\text{初診患者の数[A]} - (\text{B}) - (\text{D})} \times 100$$

$$\text{逆紹介率(\%)} = \frac{\text{逆紹介患者の数[E]}}{\text{初診患者の数[A]} - (\text{B}) - (\text{D})} \times 100$$

紹介患者の数: 紹介状により紹介された患者の数

初診患者の数: 初診患者の総数 - (休日・夜間に受診した救急患者の数 - 緊急的に入院した救急患者の数)

救急患者の数: 緊急的に入院し、治療を必要とした救急患者の数

逆紹介患者数: 他の病院・診療所に紹介した患者の数

紹介患者数・逆紹介患者数の推移

